

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)

「現代中国とアジア世界の人口生態環境問題」研究会

河川と公共性

—所有・管理・利用の観点から—

講師 田中 重好 氏

名古屋大学大学院環境学研究科 教授

概要：

河川を捉えるために、河川の所有・利用・管理という根本的な問題から出発する。これは、河川という自然の存在を、社会的な視点から捉える枠組みでもある。河川は明治以来、国家による所有を基盤に、国家が河川を管理することが行われてきた。そのことが、治水整備を進め、「効率的な」利水を進めてきたが、一方では、環境が悪化し、さらに、市民は河川とのかかわりを失う結果をもたらした。もう一度、河川環境を回復するためには、「自然公物」たる河川を「真の意味での公物」とし、公衆(市民)の側から、河川利用から出発する管理のあり方を再構成しなければならない。

2006年7月8日(土) 11:00~13:00

愛知大学名古屋校舎 研究館2階第3会議室

* 申し込み不要

* 日本語講演(通訳なし)

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel: 0561-36-5637 (内線 2862) Fax: 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料